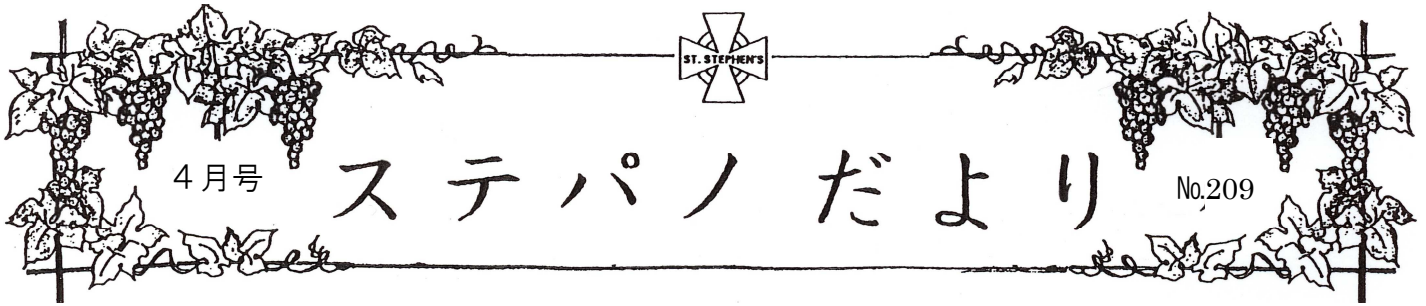




4月号

# ステパノだより

No.209

## 今月の聖句

『光の子として歩みなさい。』

エフェソの信徒への手紙 第5章8節

### ◎4月の予定

7日(金) 入学礼拝式・一学期始業礼拝  
10日(月) 身体計測 視・聴力検査(中)

給食開始(小2・中3)

11日(火) 視力検査(小)

12日(水) 聴力検査(小)

14日(金) 午前授業(小)・半日研修会

17日(月) 給食開始(小1)

18日(火) 学力学習状況調査

19日(水) イースターコンサート

20日(木) 耳鼻咽喉科検診

21日(金) イースター礼拝

眼科検診

24日(月) 岩美中学校来校(中)

26日(水) 教職員健康診断

27日(木) 体力テスト

教職員協議会

30日(日) 私立中学校進学相談会

### ◎5月の予定

7日(日) 神奈川県私立小学校フォーラム

8日(月) 心臓病検診(小1・中1)

12日(金) 春の遠足(小・中)



昨年度もたくさんの募金寄付の申し込みを頂きました。ありがとうございました。



今月号のこのページは、  
今月の聖句と学園行事のお知らせのみの  
掲載とさせていただきます。

## 実践を伴った祈りに

学園長 小川 正夫

私達は子ども達と共に、毎朝必ずこの祈りから一日が始まります。「神様は私達が心を正しくすることを勧めておられます。私達が毎日、思いと言葉と行いによって、過ちをおかしていることをお許しください。私達が神様の教えを守っていけるように勇気をお与えください」。

心を正しく保つこと、教えを守る勇気を、聖ステパノ学園が目指す教育の目標、「心の教育」を次のように謳っています。☆生命を大切にすることを育む。☆謙遜な気持ちで神様に祈る心を育む。☆人の為に尽くす心を育む。☆喜んで働く心を育む。☆平和を愛する心を育む。☆自然に親しむ心を育む。

「心」の教育は言葉や身体よりも、「心」で実践するものとすれば、先ず私達にその「心」を求められます。人格的な向上を目指して努力する姿勢が大切で、絶えず自分を見つめ自己研鑽を怠らず、自制心を鍛える勇気が必要です。学ぶことを軽視する教育者は最早教育者の資格がないといわれます。自ら向上意欲を持って勤しむ姿の中に教育者の姿があります。経験が浅い人も、豊かな経験を持つ人も、同じように、自分が選んだ生き方のような自分になることを自覚すべきです。そして、子ども達は、その影響を受け続けること、私達の生き様を、彼らは毎日新鮮な眼差しで確り見ていることを決して忘れてはなりません。

## しあわせ

教諭 赤田 祐章

世の中には、「四」という数を好まない人が多いように感じます。「音」から忌み言葉を連想するのでしょうか？しかしよく考えてみると、良い意味で使われることの方が断然多いことに気づきます。

「四」にまつわるもの挙げてみます。幸運のクローバー、葉の数は四枚です。東西南北を守ってくれる神獣（青竜・白虎・朱雀・玄武）は四神と呼ばれます。日本における季節は春夏秋冬の四季です。世界を構成すると言われる風・土・水・火は四大元素です。このように、幸運・安定・変化・基礎。生活に関わりが深く、彩を増す要素が多く含まれています。そういえば野球の四番バッターは、いなくてはならないチームの大黒柱です。

次に「音」に注目してみます。喜びの頭文字の「よ」と読めます。さらに、四を重ねて四四となれば、四合わせ（しあわせ）になります。見方、考え方を変えるだけで、まるで違う感じを受けるようになります。

さて今年度は、四年生担当になりました。児童の人数は四人です。四年生が四人：なんと良い巡り合わせではありませんか！

四人が互いの良さを認め合い、響き合って、「しあわせ」を感じてもらえるように、一年間サポートして行きます。

## 指令

参与 阿部 昭一

小学校の校舎建て替え工事にかかわる事務のお手伝いをするため、平成26年9月から再び学園に通うことになりました。当時、事務の責任者である事務長不在のこともあり、必ずしも万全な体制とは言えませんでした。営家工務店様の御尽力で年度内に完成し、新学期から児童が喜んで新しい校舎で学ぶことができました。その後は関係行政への手続きもなんとか終わることができました。

その後は、学園で保存している資料の整理に力を注ぐことが出来ました。古い学校日誌や、卒業記念文集、写真の記録アルバムなど、そのすべてが学園の貴重な財産となっています。また、この資料に基づいて上田先生が研究発表され、学会で高い評価を受けられました。

昨年から事務長が就任され、事務体制も形だけは整えることが出来たと思います。事務自体も円滑に行われているとは思いますが、今年は、事務全体の潤滑油になればと思っています。それが私に課せられた今年の課題であり、使命であると思っています。残された人生には限りがあると思いますが、悔いのない日々を送りたいと思います。

## 一人ひとりを大切にしていく

中学校教頭 飯田 幸子

中学校へ異動しての昨年は、周りの先生方や生徒達に支えられての一年間でした。みんなが元気で過ごせ、十八名の卒業生がそれぞれの道へと歩を進められたことは大変嬉しい事でした。そして、今春は十七名の新入生を中学校にお迎えすることができ、総勢五十名での新たな出発です。

実際の様々な活動を通して、生徒達が大変大きく成長することを改めて実感した一年でもありました。中学校では、次の三つのことを目標として掲げて毎日生活しています。

「個性」一人ひとりの違いを認め尊重します。

「協力」自分の役割・責任を果たし助け合います。

「自律」自分の感情や行動をコントロールして生活します。

これらのことは生徒ばかりではなく、教職員も同様だと心得て、自分自身の生活も整えていこうと思います。自身の置かれた場で、しっかりと与えられた仕事を精いっぱいやるつもりです。今年も健康に気を配り「チームステパノ」として、みんなで頑張っていきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 還元

非常勤講師（家庭科） 飯田 裕美

聖ステパノ学園で再び働かせて頂いてから一年が過ぎました。

数年間、家事育児に専念し、「行ってらっしゃい」「お帰りのさい」を言う立場から言われる立場に新鮮さを感じました。

そして、数年ぶりに社会に出るという不安もありましたが、子どもたちとの時間を過ごす中で、とにかくよく笑い、時にはぶつかり、そしてたくさんの方々の行事にも参加させて頂くうちに、「ステパノに帰ってきました！」という実感がじわりじわりと湧いてきました。振り返るとあつという間に一年が過ぎ、数年ぶりのステパノの刺激に心を揺さぶられた素敵な一年を過ごさせて頂きました。

そんな素敵な一年を過ごさせて頂けた子どもたちに還元できるように、今年度も日々精進していきたいと思っています。

また、ステパノの子どもたちは作るのが大好き。特に調理実習が好きな子どもが多く、ステパノ学園でしかできない実習をこれからも考えていきたいと思っています。

昨年度は、子どもたちを始め、教職員・保護者の方々のたくさんの方々の支援があつて家庭科という教科を行うことができました。本当に感謝しております。今年度もまた、共に家庭科を作り上げて頂けるようご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

## 新年度の抱負

顧問（技術科・情報） 今井 博光

これからの社会は、かなりの速いスピードで高度なIT社会になっていくでしょう。これは誰も疑う人は居ないでしょう。あと数年後にそんな社会に出ていく子どもたちを前にして、私が出来ることは何だろうか？考えると、とても大きな責任を感じます。

今の日本ではIT技術者が足りない、と言われてます。文部科学省もやとその事に気づいて小学校からタブレットを使いコンピュータに慣れさせてと、考えているようです。世界がグローバル化していく中で「英語」も小学校から始まります。英語を早い時期から学ぶことは賛成です。コンピュータを扱うと大変多くのカタカナ英語が出てきます。そして、それらのカタカナ英語の英語での意味を知らなければ真にその意味を理解することはできません。また、ビットやバイトの情報量の計算には数学の知識が不可欠です。これらが理解できれば、月末のスマホ料金の驚かされることは無いでしょう。そこで、いろいろな教科の先生のお力をお借りしなければなりません。どうぞ、よろしくお願い致します。



## 一年後

小学校教務副主任 上戸 基夫

新しい年度が始まり、子ども達の笑顔が学校に溢れます。新年度も子ども達がお互いに影響を与え合い、今ここにいる人達でしかできない協力と学び合いを大切にしていきたいと考えています。

今年は「一年後の姿」を強くイメージし、目の前の子ども達に向かうことをテーマに据えました。こんな成長をして欲しい、こんな子ども達になって欲しい。そのためには今、自分がやらなくてはいけない事は何かをしつかり逆算していききたいと思います。そして何か迷った時、まとまらない時は「それが本当に子どものためになるのか」という基本に戻ろうと考えています。学校は子ども達の成長を支え導いていく場所です。この基本をしつかりと心に留めて、日々子ども達に向き合いたいと思います。

今年は心と体の成長に大きな変化を起こす三年生担任となりました。この大事な時期、一人ひとりをしっかりと支えていきたいと思っています。

登校日数は一九四日。この日数を多いと考えるか、少ないと考えるか、日々の準備と過ごし方次第です。一年後、子ども達が立派に成長している姿をイメージしながら、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思っています。

## 努力

教諭 草山 広子

一年生から引き続き、元気いっぱいの子と過ごした一年間は、私にとって大切な宝物です。子どもたちから、たくさんのことを学びました。その一つに「努力」があります。二年生の三学期、担任の先生と相談して、漢字のテストを山登りに見立てて、チャレンジする事にしました。岩崎山、高田保公園、高尾山、富士山コースの四コースがあります。自分で登る山を決めて挑戦します。目標達成まで何度もトライして頑張る姿に感動しました。保護者の方々の応援にも大変感謝しています。登頂成功の時は、クラスのみんなから、温かい拍手で「努力」が讃えられます。

こうした毎日の積み重ねを大切に考えて過ごした一年間でした。運動会やクリスマス祝会、幼稚園生を迎える会や、六年生を送る会など、みんなで一つのことに取り組む中で、協力することの大切さを肌で感じる事が出来ました。そして、喜びを分かち合い、心が一つになる瞬間がいくつもありました。

今年度も、引き続き小学校三年生の副担任となりました。木のぬくもりのある新校舎での二年目の学校生活です。一日一日を丁寧に過ごして行きたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

## 抱負

教諭 根田 栄子

今年度、久しぶりに中学校の授業を受け持たせていただくことになりました。

小学校とは違い、中学校の授業は定期試験があったり、楽曲も長く複雑になったりと難しくなってしまうがちですが、『音楽』という字の如く『音を楽しめる』授業を心がけたいと思います。

以前担当していた時とは生徒たちの様子も変わってきているし、教科書も改訂されていますが、昨年度2学期から中学校に移動し、生徒たちの様子や教科書の内容も知ることができたのでよかったです。

引き続き、小学校の音楽も『より面白い授業』めざして、より面白く児童たちに合った教材を探したいと思っています。

また、一昨年から趣味で始めた語学では、検定試験の4級合格を目指します！

とは言うものの：筆記は何とかなると思うのですが、問題はヒアリングです。成人してからではなかなか耳が育たないな：と日々歯がゆい思いをしているのですが、あきらめることなく、通勤時間にCDを聴いたりして頑張ってみようと思います。

今年度も一年間、どうぞよろしくお願い致します。

## タイムマシンがあつたら

教諭 咲間 直人

ある卒業生から「先生はタイムマシンがあつたら、過去と未来のどちらに行きたいですか？」と質問されました。即答で「どちらにも行きたくない」と答えました。理由は「今が大切だから」です。子どもの頃にバック・トゥ・ザ・フューチャーという映画を観ました。内容は現在の状況を変えるために過去や未来に行き、悪戦苦闘するというものです。私はこの映画が大好きでした。子ども心に過去に行つてあれを変えたいや、未来を見てみたい（お金を稼げるかも！）と色々想像したことを覚えています。質問されて、自分の考え方が変わったなあと改めて思いました。過去には失敗し悔やんだこと、予期せぬ事故にあったこともあります。未来を見れば安心できることもあります。でも、何かあるたびにタイムマシンを使って現実を変えようとすることは、ある意味「今の自分から逃れるための行動」です。それは、きつと切りが無いと思います。過去の経験を活かせるのは今ですし、未来を形作るのも今の自分です。子ども達が大人になったとき、この聖ステパノ学園で過ごした日々が大切な時間だったと思えるよう、過去から学び、未来を見据えた今を大事に今年度も過ごしたいと思っています。

今年度もよろしくお願いします。

非常勤講師（音楽科） 笹尾 和子

毎年のように12月に「メサイヤ」を歌うために9月ごろから練習をしています。

皆さんも、一人で練習するより何人かグループで練習すると上手な人がいて「うわぁいいな」と感じる事が有りますね。私の歌っているグループにも素敵な人がいて、男声奏者4人が「バーバーシヨップ」という演奏スタイルで何曲か聴かせてくれました。とても美しい響きが気に入り、もつとバーバーシヨップを聴きたくなって「YouTubeにありますか？」と質問したら「たっくさんあるよ！」と教えてくれました。

検索してみると色々な人達がバーバーシヨップを歌っているの嬉しくなりました。何日もバーバーシヨップを聴いていたなら「しずけき川の岸辺を…」と同じメロディーが聴こえています。日本語ではなく、英語の歌で。

「It Is well」with My Soul」

この曲はホレーシオン・ゲーツ・スパフォードという人が詞を書いています。彼の身に起きた事件が詞を書くきっかけになっています。私は、事件を知って大変驚き悲しくなりましたが、今まで歌っていた優しいメロディーをもつと好きになりました。それから美喜さんは英語で歌っていたのかな？と想像しました。まだ知らなかった事がたくさんあります。一緒に発見していきましょう。

思うこと

事務長 佐々木 茂穂

子供達の笑い声、顔いっぱい笑い顔が、学校全体に広がっています。

これから沢山の経験を積み、喜びや悲しみを体験し、今まで生きた何倍もの、色々な事に会つて行くと思います。

人それぞれに、生き方や希望があります。

今の生活環境は、勤勉な人達が、長い時間をかけて作り上げてきました。世界でも進んだ国になり、他国からは、羨むべき存在になっています。

私達は、自然に競争社会の中で育ち、強い生活の中にいます。でも、色々な人達が居るのに、色々な生活を選ぶことが出来ないようにも感じます。急ぎ足で、ぶつかりながら歩いて居る人達が多いようにも感じます、もつとゆつくり、時間をかけて、もつと楽しく生きる事が出来ないのかと。

本当に求める生き方は、決して報酬に見合うとは限りませんが、生き方の達成度も、満足度も違うように思います。

見方を変え、立ち止まってみては如何ですか、人も、国も、自分達で変えることが出来ると思います。

「私に出来るか疑問ですが、一人の人間としてトライする一年にします。」



『今を変えなければ、未来は変えられない』

小学校教頭 佐藤 紀明



昨年度、思い入れある中3への卒業文集のメッセージに、私はこの言葉を書きました。ラグビー日本代表の五郎丸歩選手が一番大切にしての言葉です。元々は、当時のヘッドコーチをしていたジョン・カーワン氏の言葉だそうです。ホワイトボードに「過去・現在・未来」と書かれたある日のミーティングで、「過去は変えられるか？」と問われた五郎丸選手は「変えられません」と答えたそうです。次に「未来は変えられるか？」と問われたら、「変えられます」と答えて、言われたことが「違う。お前が変えなければならぬのは今。今を変えなければ、未来は変わらない。」

未来を変えられると人は簡単に言います。自分もそう思っていました。でも、今、この瞬間だけを考え、全力か、一歩でも前へ出ているのか。その積み重ねでしか自分の未来は作れない。だから、今を変えていきたいです。気づけば、今年で在職25年目を迎えます。偉大な先生方が残してきた伝統を大切に継承しながら、新しい未来を創出していくために、今、この一瞬を大事に生きていきたいです。

どうぞ、今年度も宜しくお願いいたします。

大事なことに気づく

事務 佐藤 雅美

たくさんの大事なものとがあると、どうしてもたくさんのすべきことが増えて、頭の中も常に追われてゴチャゴチャになってしまします。

その「すべきこと」って、全部が大事なことなのではないか。

今年度は、自分に問うことにしました。

自分に問うことによって、きっとすべて大事に思えていたものが、実は大事でないと気づくことができます。

自分にとっての大事なことに気付くと、自分の行動の判断基準ができて、大事でないことを捨てられるようになり、頭の中もひとつ、すっきりします。仕事も、「どこまでも頑張る！」のではなく、線引きをして無理をしません。線引きという言葉は本当はキライですが、それでも自分の限界を超えないように、線引きします。

決めた時間の中で、最大限のパフォーマンスを上げること、やみくもに頑張るよりも、頑張る方向性も、ぐっと明確になるはず。大事なことで以外は捨てて、頭の中の散らかりを整理して、身も心もいつも軽やかにしていきたいです。



「どうでもいいや」

教諭 佐藤 優

はじめまして。この四月から赴任しました佐藤 優と申します。小学校五・六年生の外国語活動と中学校一年生から三年生までの英語の授業を担当させていただきます。聖ステパノ学園に来るまでは、四年間、平塚市立の中学校に勤務しておりました。前任校の生徒たちとの別れを惜しみながらも、新しく出会いみなさんとの出会いを心待ちにしております。

さて、今年度の私の抱負は、「コミュニケーションをとること」です。私は「ことば」は人間に与えられている最大の力だと思います。思っているだけでは伝えたいことの詳しいことまで伝わりません。時に、伝えることが難しい内容や「どうでもいいや」と思える内容は話すのを躊躇することがあります。しかし、今年度は「どうでもいいや」というようなことを皆さんと楽しくお話してきたらいいなと思います。ですので、ぜひ皆さんの「どうでもいいや」をたくさんお聞かせください。ただの情報を伝えあうだけではなくて、「どうでもいいや」を伝えあえる、心と心がつながった「コミュニケーション」をしていきたいです。本年度からどうぞよろしくお願いいたします。

共に歩んでいく

教諭 澤邊 嵩介

新一年生の子どもたちと同じく、この四月から聖ステパノ学園に新しく入ることになった澤邊と申します。…といっても、実は昨年の十一月に、二年生と五年生のクラスで教育実習生としてお世話になっていました。

はじめは、「わたし」は「子どもたち」にどのようなアプローチをしたらうまく教育ができるだろうか、といった風に想定ばかりしながら教育実習に臨んでいました。しかし、子どもたちと一緒に過ごす中で、「子どもたち」から「わたし」が教えられることがありました。

例えば、友達がケンカして落ち込んでいる時にさりげなく寄り添う姿。例えば、空の青さの美しさをありのままに表現した詩。日々を過ごしていく中でつい忘れていたり見落としてしまいう素敵なことを、子どもたちは教えてくれます。

この春から、二年生は新三年生へ、五年生は新六年生へと、子どもたちは新たな学年に進み、新たな歩みを踏み出します。わたしも共に新しい歩みを踏み出して、子どもたちの持つきらめきを見落とさないように今年度の職務に臨もうと思います。よろしくお願いいたします。

一歩ずつ前へ

教諭 高桑 恵

今年度、五年ぶりに一年生の担任をさせていただくことになりました。幼稚園から新たな小学校という環境に入って不安と期待でいっぱい的一年生。子ども達が、毎日学校へ来るのを楽しみに、安心して生活できるように居心地の良いクラスを作っていきたいと考えています。六名というコンパクトな人数なので、ゆつくりと丁寧に一歩ずつ子どもたちの立場になって考えながら進めて参りたいと思います。それぞれが自分のことだけを考えるのではなく、お互いを思いやり、良い所は認め合い、難しい時は励まし合って、お互いに成長し合える『仲間』になってほしいです。

教科の方は、一年生の図工も担当することになりましたので、臨床美術士の資格を生かしてクリニカルアートも少しずつ取り入れていきたいと考えています。山と海に近い自然豊かなステパノの立地を生かして、校外学習を多く取り入れ、感受性豊かで心も身体もバランスのとれた力を身につけていってほしいと願っています。そのためには、保護者の皆様のご理解とご協力が不可欠です。保護者の方々と学校の垣根をなるべく失くすように連携を密にとっていくよう心掛けたいと思います。成長著しい可愛い盛りの子ども達と共に過ごせることに感謝しつつ、精一杯がんばります。どうぞ、よろしくお願い致します。

子供は大人の背中を見て育つ

顧問（技術科・木工） 高橋 恵太郎

先日穏やかな森の中の教室から巣立っていった中学生が元気に外の波を乗り越えてくれることをお祈りしています。

私も二人の娘に恵まれかつては子育ての時代がありましたが、その頃は会社勤めの真最中で子育ては専ら妻任せでした。言い訳に聞こえるかもしれませんが、子供は親の背中を見て育つと信じていましたから、私はひたすら自分の職務に邁進でしたが幸いにも二人の娘は真っ直ぐに育ってくれ、今はそれぞれ二人の孫に恵まれ平和な毎日を送っています。

今年も中学生の子供たちと木工を通して楽しい時間を過ごすことができ、この幸せを本当に感謝しています。

ある時、私は司祭様とお祈りについてお話しする機会があり、私はお祈りをするときまだできる筈だと次々に御用を言いつけるので辛いと申しますと、司祭様は何もして下さらないと文句ばかり言っていると聞いていました。澤田美喜さんも清里の父と言われたポール・ラッシュュさんも、毎朝、神様のご指示を頂いてから一日の仕事を始めると聞いています。私も毎日のお祈りの中で、どうか今日も神様のご指示をお示し下さいとお祈りしていますが、私に出来ることそれは一生懸命努力することしかありませんので、そんな事が子供達に示せればと願っています。

## 新年度の姿勢

教諭 高橋 謙二

4月から小6の担任をさせていただきます。昨年は、久しぶりの小学校という環境、そして、小学生との関わりの中で戸惑い、長い教員生活の中でも、上手に進められない所が多々ありましたが、今年は最高学年を持ちますので、小6の児童共々、小学校の見本となるように気を引き締めていきたいと思います。

新年度の学校生活での、心構え宣言します。

- ・目の前のことに一生懸命に取り組む。
- ・何事も、謙虚さを確認しながら生活する。
- ・一年間、子どもたちと一緒に楽しむ。
- ・事故、ケガのないように心配りをする。
- ・子どもの意見に耳を傾け、尊重する。
- ・保護者の方々のご意見をしっかりと聞く。
- ・人としての良し悪しを身につけ学ぶ。
- ・人が喜ぶことを、子どもたちと
- ・優しくさを忘れないようにする。
- ・厳しさを忘れないようにする。
- ・辛いことや悲しいことを
- ・どんなことも、自分の事として感じ
- ・生きることの楽しさを一緒に感じる。以上肝に銘じ、真面目に、真剣に取り組んでいきます。どうぞ宜しくお願い致します。

## 夢

養護教諭 田島 恵

舞台というものは、様々な世界に人々を連れて行ってくれる不思議な場所です。もちろん、現実的に瞬間移動や過去や未来に行けるわけではありません。演劇の舞台では、作品を通して別の場所へ移動できます。音楽の舞台では、歌詞やメロディーを通して思い出の場所や人に会いに行くことができます。

「人生には夢が必要だ」

この舞台は右記の内容を私に教えてくれた作品でもあり、私の好きな舞台、『夢から醒めた夢』の中で出てくるセリフです。学生の頃は、無謀と思えるような大きな夢がありました。しかし、今は毎日ゆっくり眠りたいという願いしかありません。

総理大臣になりたい、俳優になりたい、宇宙飛行士になりたい。難しい夢ほど、乗り越えなければいけない壁がたくさんあります。壁があるということは、その数だけ努力をして、成長して乗り越えて、夢が現実になづくのを日々感じられる事だと思います。子どもたちには、夢がない、小さい、そんな人生より、困難でも日々夢に向かって輝いていける、心の強さを養ってほしいと思います。一度きりの今年度を、明るく、楽しく、おおらかに過ごしてもらえたら嬉しいです。

## 新年の抱負

教諭 田中 圭史

今年も新しい生活が始まります。新しい制服、新しい教室、新しい教科書…、子ども達だけでなく教員である私も心が新しくなります。春を迎えた木々と同様に力が漲っている、この新鮮な気持ちを忘れずに一年間過ごしてまいります。

近年、「心の回復力（レジリエンス）」という言葉をいろいろなところで耳にします。落ち込みからの立ち直りや自分自身をコントロールする力のことだそうです。私たちは順境と逆境を繰り返し経て、鍛えられていきます。そこから生み出される強くしなやかな心の必要を感じています。それは言うまでもなく生きる力につながっていきます。

また、自分を表現する力を養うとともに、他者を理解する力を養っていくことができたかと考えています。子どもたちが自分を大切にするのと他者を大切にすることのバランスがとれるように成長してほしいと願っています。日常生活での様々な出来事を通して、子ども達と一緒に彼らのいろいろな面を見つけていきたいと思っています。

よろしくお願いいたします。





## あいさつの大事さ

校務・守衛 飛田 裕二

聖ステパノ学園に来て早一年が過ぎました。登校時と下校時に正門前にて、こども達の安全を守るため日々、見守って来ました。

つい先日朝の事です。大磯小の女子児童が「いつもありがとうございます。四月から中学生になります。」と声を掛けてくれました。私も「おめでとう！これからも頑張ってください！」と言うと笑って立ち去りました。

私は物凄く感動し、泣きそうになりました。何気ないあいさつでも、人によつてはとらえ方が違うんだなと思いました。本当にあいさつをして、良かったと思いました。そんな、こども達を見ていると、真っ直ぐな瞳には嘘とかはつけないなと感じました。

大人になると、悪いことをしても、叱ってくれる人が居ないので誰も見ていないから、いいやとか、ばれなければいいとか心の中で思っているだけで過ぎてしまいます。

今の自分に何が足りないのかや、これを言ったりやったりしたら相手はどう思うかなど、考えて行動しなくてはいけないと思いました。時代の流れや風評に流されないで、しっかりと自分の信念を持ち、土を踏みしめて、目をしっかりと開いて世の中を見て、傷つき打ちのめされても、這い上がる勇氣を持ち、人には優しく接していこうと思います。

## 海はいいなあ

統括教頭 中村 弘之

聖ステパノ学園の自然は豊かだ。と、昨年度も書き出した。教育に自然を取り入れたい、と。主に岩崎山の森について書いたのだが、実態は授業で子どもたちと海に行く事が増えた。それは、佐藤先生と組んだことが大きな理由だ。佐藤先生はいろいろなことができる人だが、魚についてもやけに詳しい。

磯の水たまりには、面白い生き物がいる。しかし、どれもせいぜい2、3センチで、まず判別できない。しかし佐藤先生は「あ、○○ハゼだ。」「すごい！○○ダイだ。」と全部知っているのだ。しかも飼う方にも精通している。ほかにも海好きな先生が多いこともわかった。こんな恵まれた条件を生かさない手はない。佐藤先生にお願いして、出来る限り海に行く事にした。

普通の学校では年に一度、磯の勉強に出かけるぐらいだから、子どもはおっかなびっくり海に入り、やっと生き物の姿が見えるようになるころには帰る時間となる。しかしステパノの子どもたちは違う。何度も行く事が大切だ。そのたびに違う潮の様子、風、気温、滑り具合などを感じる体になる。どこに何があるか知っているので、獲物を決めてとりに行く。これが勉強だと思う。足元がおぼつかない子のことを、強い子がちゃんと見てくれる。今年度も自然を先生にしようと思う。

## 健康に気をつけて

教諭 難波 寛

今年の目標は当たり前な事2つです。1年間これを頭の片隅において生活していこうと思っています。一年後には「当たり前でしょ。」と胸をはって言えるように成長したいです。

### ①健康に気をつけること

アントニオ猪木さんの「元気があれば、何でもできる。」という言葉は、調子を悪くすると思ひ出します。なぜならば、生活を送っていると元気が一番大切であると感じさせられるからです。元気な時は、「あれも、これもやってみよう。」挑戦する心が芽生え、実行できます。しかし、体を壊しているとき、やる気も氣力も出て来ません。(さらに個人的に思うことです。が、そういう時に限って忙しさが増します。)まずは体を大切に元気に生活を送ることを今年の一番の目標にしたいと考えています。

### ②勉強をすること

私は数学が大好きです。この楽しさを生徒の皆さんに伝えられたらと思います。教員になりました。教員にとって大切な事は学ぶことだと思っています。ですが、このところ忙しさを理由に勉強ができていないと感じています。今年の大斎克己はげみ表の目標は、「毎日勉強をする。」です。しかし、この結果(まだ途中ですが)は散々なものでした。これを機会に勉強をする習慣を身につけなければいけないと反省をしています。

## 全力傾注

中学校教務主任 西海 多恵子

本年度の自分の実現目標は、「全力傾注」です。学園に奉職してから、かなり長い年月が過ぎました。その間、生徒に学び、同僚に学び、時に学外での学びの機会も得ながら、ただがむしやりに過ごしてきました。

近年感じるのは、仕事に対する力の向け方が、以前とは変化しているということです。経験を重ねると、ある程度、こうすればこうなる、ここを気をつけないと後で問題が生まれる、という見当がつくようになります。それ自体はいけない事ではありませんし、いつまでたっても新任と同じでは、ある意味成長がありません。しかし、と私は考えるのです。しかし、そうして過去の、経験上のセオリーだけをもとに日々の務めを果たすことは、気をつけないと、力の向ける方向を間違ってしまうことになるのではないか。

そこで今年は「全力傾注」。今までの経験で得たもの、失敗から学んだこと、すべてを日々の仕事に注ぎ込む。さらに経験の中でそぎ落とししたもの、気づかず置き忘れてきたもの、あえて蓋をしてきた試みを、もう一度自分で掘り起こし、熟成させ、正のベクトルで活かす。しなやかに、力強く。

甚だ抽象的ではありますが、本年度の実現目標です。

## 今年度の抱負

中学校教務副主任 二椏木 健太

今年箱根駅伝を観て、選手達がタスキ一本にたくさんの想いを乗せ、全力で次の中継所までの区間を走り、走り終えた後は一人で立つこともできないくらい自分の力を使い切っている場面が印象的でした。

その場面を観て、今の自分自身は日々全力を尽くせているのだろうか疑問を持ちました。もちろん毎日手を抜いているわけではなく、一日一日を大切に、その日のベストを尽くそうと頑張ってきました。しかし、一日が終わる、自分の心のどこかで本当はまだまだいけるのではないかと思うこともありました。

そんな前年度感じたことをふまえ、今年度は全力疾走で1年間を走り抜けたいと思っています。常に自分のベストを出し、途中苦しくなった時も歯を食いしばり、1年間終わった時に前のめりに倒れ、自分の中で全力を出し切ったと思えるような1年間にしたいです。そのためには毎日思っていることですが、一日一日の限られた時間を子どもたちのために大切に使いたいと思っています。今年度、一緒に生活する新中学3年生の卒業までの区間を良い形でタスキが繋がり、ゴールできるような精一杯やれることをやっていこうと思います。

## 新年度の抱負

非常勤講師(音楽科) 能條 貴大

だんだんと冬の寒さも和らぎ、うらかな好季節となつてまいりました。児童生徒の皆さん、ご進級、ご入学おめでとうございます。皆さんの希望に満ちた顔を見ますと、非常に気持ち引き締まります。

新年度を迎えるにあたり、抱負として四字熟語の『温故知新』を掲げ、日々の生活を過ごしたいと思います。温故知新とは、中国の思想家『孔子』の教えから発祥した言葉の一つで、『過去をよく学ぶことによって、新しい知識、見解を見出すことができる』という意味を持ちます。この言葉の意味を考えると、人に物事を教えるということとはとても大変なことだと強く感じさせられます。音楽の授業においては、四百年以上前の音楽から現在まで、古今東西、世界中の様々な音楽を学ぶこととなります。これは一生かけても学びきれないほどの量と奥深さを誇っています。音楽の授業を通して、過去から現在までの素晴らしい音楽に触れてもらう、時代ごとの特徴をとらえ、変化していく様子を伝えることのできる、そんな授業を作れるように精進してまいりたいと思います。

過去を知り、他の人の考えを知り、新たな見解を持つことを目指し、頑張りたいと思います。今年度もよろしくお願いいたします。

## 心もピカピカ

小学校教務主任 長谷川 誠子

昨年度は小学校に新しい校舎が与えられ、子どもたちはとても良い環境の中で、一年間学ぶ事が出来ました。木造校舎の木の香り、温もりは、子どもたちを優しく守り、育んでくれたように感じます。

この校舎を、みんなで大切にしていきたいという思いで、毎週金曜日の掃除の時間を「ピカピカデー」としました。この日は、普段の掃除に拭き掃除なども加え、いつもより丁寧な掃除を行いました。

低学年の子どもたちもこの日は、汚れのあるところを見付けては頑張つて拭き掃除です。掃除を続けていくうちに、細かい所まで気にして掃除出来る子、綺麗になる事に喜びを感じる子も出てきました。

みんなで協力し、自分たちの生活する場を綺麗に、そして、大切にしていく事は、子どもたちの心を育む事にも繋がっていました。

今年度も子どもたちと一緒に活動することを大事にし、一人ひとりの持つっている力や成長に目を留め、たくさんの可能性を引き出せるように関わりたいと思います。校舎もピカピカ、子どもたちの心もピカピカの一年にしていきたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## わくわくを胸に

養護教諭 原 優花

つい先日よりご縁があつて聖ステパノ学園で働かせて頂くことになりました。初めて来たときの感想は、「トトロに出てきそう」でした。たくさん緑に囲まれたこんな素敵な場所、子ども達と一緒に元氣いっぱい楽しく過ごしていけたらな、と思います。養護教諭としては知識も経験も不足しており、至らぬ点ばかりで皆様にはご迷惑をお掛けすると思います。しかし、決して甘んじることなく、常に教員としての意識を持つこと、その時々で自分が出来るベストを考えて行動することを忘れないようにします。本だけではなく、子ども達や先生方からも、たくさん学びを得ていきたいです。子ども達と一緒に考え、一緒に行動し、寄り添っていくというのはどういうことなのか、学校保健という立場から自分に出来ることは何か、ということを考えながら日々過ごしていこうと思っています。今は不安も多いですが、それ以上に子ども達と接することや先生方と一緒に仕事をすることがとても楽しみです。そういうえば、聞いた話によると、緑の中に狸や猿などが住んでいるとのことだったので、小まめにチェックしてぜひお会いしたいです。よろしくお願いいたします。

## 向上心と共に

非常勤講師（書写） 伴 茉莉子

小学校中学校の書写を受け持ちます。今年も学園の教育の一端を預かることに感謝し、一年間力を尽くしたいと思っています。

昨年完成した新しい校舎での授業は、教室のあまりの美しさに「墨のよれが落ちますように」と例年以上に祈るばかりでした。どれだけ気をつけていても大人数での毛筆の授業に墨のアクシデントはつきものです。おかげさまで子ども達の努力と先生方のご協力によって一年を終えることができました。

今年も書画展覧会が控えています。秋口までは作品作りが中心になりますので再び墨との格闘がはじまります。小学生は（もちろん中学生も気になる方は）スモックを必ずお持ちください。手足顔は防ぎきれませんが、せめて服だけは…と思っております。

年々「今年の課題の字は何？」という声が増え、賞をとりたいたいという意欲も伝わってくるようになりました。子ども達の向上心に促されるため、書ける字や出来る事が少しずつ増えるような授業になるよう私も身の引き締まる思いです。

小学三年生から中学三年生まで、それぞれの学年のカラーを活かしながら、子ども達と一緒にじっくりと「書」を研究したいと思います。よろしくお願いいたします。

## 今年度の抱負

学校図書館司書 平野 朋子

今年度も、小中学校の図書室で司書をさせていただきます。

聖ステパノ学園の図書室には、児童生徒による手作りの作品がたくさんあります。小学校には卒業制作の本棚が三架、中学生が昨年夏の職業体験で菅家工務店の方と制作したベンチ八脚があります。中学校には卒業制作の机が四台、本の表紙を見せることができるブックスタンド五個があります。どれもみな、図書室では必要なもので大切にに使わせていただいています。

子ども達がひろい知識を身につけ、深く豊かな心を持つことができるように、また、将来にわたり自発的に学ぶことができるように、図書室を整えていきたいと思っています。

今年度も、図書委員や先生方に助けていただきながら、居心地のよい図書室を目指していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



## 今年の抱負

庶務 松崎 由香

ご入学、ご進級おめでとうございます。皆さんと同じく新たな気持ちでスタートです。また新たな出会いも楽しみにしています。

私は小学校の職員室で事務の仕事をしています。普段は、外部から届く書類の受付業務や必要書類の保管、作成等行っています。

一年の中で一番忙しい時期は3月に入ってから新学期の前まで。色々な書類や学用品等の準備に携わっています。今年はどんな子が来るのかなと元氣一杯の笑顔进行い浮かべながら準備していきます。

私がステパノで最初に出会った時、まだ入学したばかりの小学1年生が今年はまだ6年生です。中学生だった生徒は卒業して時々先生方に顔を見せに來たりして。時が経つのは早いですね。そんな姿を見ると本当にうれしく思います。生徒達の事を最優先に考えて下さる先生方に見守られて立派に成長し巣立っていく姿は素敵です。

私も皆さんと出会えた事、色々な人に支えられて日々過ごしている事など、感謝の気持ちを忘れずに、少しでもお力添え出来る様に取り組んでいきたいと思っています。今年度もよろしくお願い致します。

## 「Smile」

教諭 宮崎 幹子

今年の私の目標は、「笑顔で子どもたちと楽しい時間をたくさん過ごすこと」です。

一昨年の秋に聖ステパノ学園に赴任し、今まで無我夢中で仕事をさせていたでいたしました。慣れない仕事で至らない点も多く、課題は多いままですが、必死になりすぎて笑顔が少なくなってしまうのではないかとこの思いがあります。

私は不器用でなかなか物事をスイスイとやる事ができない反面、何事にも一生懸命に取り組むことができることが自分の良い点だと思っています。しかし、これまでの聖ステパノ学園での日々を思い出した時、一生懸命、全力投球はしてきたけれど、逆に顔が固くなっていたのでは：と反省しています。

今年は、昨年から一緒に勉強してきた、新五年生とまた勉強や生活をする事ができることになりました。昨年度、子どもたちに教えてもらった自分の良いところ、悪いところを素直に受け止め、今年は笑顔で楽しく一緒に勉強や生活をしていきたいと思っています。

新年度から、やわらかな気持ちで新しいスタートを切りたいと思います。どうか今年もよろしくお願い申し上げます。

本気で楽しむ！

非常勤講師（図工・美術科） 山口 小百合

私の新年度の抱負は、時を忘れてものづくりに熱中してしまうような授業をつくり、子どもたちに楽しい美術・図工の世界に触れてもらうことです。

昨年度は中学校で美術を教えていました。約一年前の私は、授業がなかなか思い通りに進まず、焦りを感じていました。

デザインの課題では、筋道を立ててコンセプトを考え、教科書にのっているテクニクを早くマスターするように繰り返し教えてきました。生徒の作品に高い完成度を求め、よい成績を与えることが目標でした。その目標とは裏腹に制作は混沌を極め、どうにか作品の形を保ったものが提出されるという状況でした。私はとても落胆しました。夏前のことです。私は授業の冒頭で色々な理想を語るのをやめて、まず作ってみて、それから一緒にアイディアを考えていくことにしました。それまで退屈そうにしていた子が、生き生きとアイディアを考え、本気で楽しむようになりました。今年も子どもたちの「本気顔」をしっかりととらえ、育てていきたいです。

小学校の図工は初めてですが、子どもたちと一緒に楽しみながらものづくりの楽しさを味わいたいと思います。至らない部分ばかりですが一年間よろしくお願い致します。

素敵な公式

支援相談員 山口 滋美

三年目の春を迎えました。

昨年の収穫は、なんといっても中学生のみなさんとお近づきになったことです。週三日の出勤のうち、「水曜日は中学校常駐の日」とし、職員室2階の相談室Cを拠点に、授業をのぞかせていただいたりしながら、ほぼ一日を過ごしました。挨拶をしたり、休み時間にちよつと言葉をかわしたりしながら、中学生との距離も少しずつ縮まってきました。

そんな中で、放課後や休み時間に相談室で相談を受けることもありました。学校生活、友達、部活での心配や、学習面での悩みなど、中学生ならではの話を聞くことができました。小学生の将来の姿や思春期特有の心の壁を理解することに繋がりました。

第三者にとつては何でもないことでも、本人にとつては長く暗い出口の無いトンネルに入ってしまったような絶望感、考えれば考えるほど同じ結論に戻ってしまう無力感、世の中の見え方まで違ってしまう程の苦しさです。そんな時、不思議な公式を思い出してください。それは、『人に話すと、喜びは2倍に、悲しみは半分になる』という素敵な公式です。自分で実行してみることで、この公式を証明してみませんか。気軽にお声がけください。今年もよろしくお願いいたします。

初心

総務 山田 満紀

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について感謝しなさい。これがキリストイエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」（テサロニケ人への手紙第一、五章一六節～一八節）。

「おはようございます」すがすがしい子ども達のあいさつで一日が始まるステパノ学園生活が、なんと十年目を迎えます。大きな豊かな自然に包まれた環境の中に、子ども達の元気な声が響きわたる日々、毎日があつという間に過ぎていきます。でもその一日一日は一人ひとりの成長に欠かせない大切な時間なのだということを、卒業していく誇らしい子どもたちの姿を見るたびに思います。今年中学を巣立った子ども達が小学校入学と同じ年に私も学校という職場に初めて勤務しました。ずっと子ども達の成長を見守り続けることができた幸いを感慨深く感謝しております。

ことにステパノ学園は、聖書の言葉に根ざし、祈りにはじまり祈りに終わる日々であり、みんな明るく元気に優しく育ちます。どの子ども大切な一人だということを大人も子どもも当たり前のように思っています。神様の愛がそこにいつもあるからです。また新しい一年のスタートにあたり、子どもたちの生活の傍らで安心できる環境整備に努めてまいります。



## 習慣の力

教諭 米原 佑樹

小学6年生を担当していた昨年度から一転して、今年度は小学1年生の副担任をさせて頂きます。卒業式の涙も束の間、あっという間に入学式！そのギャップは戸惑いにもなりえますが、今は新しく始まるこの1年間で楽しみで仕方がありません。「1年生の副担任」は私が聖ステパノ学園の初年度に担当させて頂いた役割です。初心に返って…というにはまだ早い年齢かもしれませんが、気持ちをまた新たに、1年生の子どもたちとの日々を身体いっぱい楽しみたいと思います。

昨年度、「習慣」を作ることがいかに大切かを考えることが多くありました。もともと短期一極集中型で長期的に動くことが苦手な私ですが、毎日の習慣を改めて見直すことで、二十四時間でできることをずいぶん増やすことができました。意外なことでしたが、「気づいたら」や「たまに」やるよりも「いつも」やる方が負担が少なく効率的でした。

新しい環境に飛び込む1年生は、慣れなくてはいけないことも多くて最初は少し大変です。しかしこれから一つずつ、学校生活を楽しく送れる「習慣」を身につけ、心から楽しいと思える充実した時間をたくさん過ごせるように支えてあげたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## チーム・ステパノ

教諭 和田 好江

三月に卒業生を送り、この四月に新入生を迎えて新たな一年がスタートです。子どもたちと一緒に、私自身が期待と不安で胸が一杯ですが、いかなる時も学校の中は、明るく健康的な生活を送っていけるよう努めていきます。

学園の体育科専科として長く務めさせていただいていますが、今年度もそれを中心としてより良い授業を目指して努力したいと思います。教師の基本であるよい授業をすること、それは初心であり、命であります。昨年度、教育センターと体育センターの先生方に来ていただいた学びの機会を得たことを生かし、自分が大切にしていきたいことと今学ばなければならぬことを擦り合わせる一年にしたいと思います。

聖ステパノ学園は、教職員自らが動く学校です。まずは自分から、自分の役割を全うし、周りの教職員と協力しあって、共に働き共に学ぶ場です。チーム・ステパノの一員として、どんな困難があってもチームワークで乗り切っていきたいと思っています。自分が子ども達の教育環境の一つとして、子ども達の成長を育む素敵な環境をつくっていききたいです。一年間どうぞよろしく申し上げます。

### ☆転入学募集のお知らせ

二〇一七年（平成二十九）年度に転入学を希望する児童・生徒を若干名募集しています。

- ・ 聖ステパノ学園小学校 一年生～五年生 各若干名
- ・ 聖ステパノ学園中学校 一・二年生 若干名

詳細は、学園事務室までお問い合わせ下さい。

### ☆日英音楽協会創設25周年記念『イースターコンサート』のお知らせ

日時 2017年4月19日（水）  
開場 13時30分 開演 14時00分  
場所 学園内海の見えるホール  
入場料 千円

パイプオルガンとテノールによる英国の教会音楽を中心とした楽曲を演奏。





S Aも新たな年度がスタートしました。新役員から皆様に一言ご挨拶申し上げます。

#### 【中学校代表 中二】

皆様に助けて頂きながら子供達の笑顔をたくさん見られるよう、また、成長を見守りながら活動していけたらと考えております。☆平塚市在住☆遺伝子解析の仕事をしております。

#### 【中学校代表 中二】

息子の入学から一年が経ちました。子供たちが楽しい学園生活を送れるように、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。☆秦野市在住☆教会付属幼稚園に勤めております。

#### 【小学校代表 小四】

小四は少人数ですが、親子共々他学年の皆様仲良くして頂き、楽しいステパノ生活を送っています。無理せず楽しく参加しやすいS A活動にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。☆本郷台(横浜)在住☆静岡県浜松市出身です。

#### 【書記 小二】

今年度のS Aの活動を正確にわかりやすく記録に残し皆さんにお伝えできるよう努力します。よろしく願いいたします。☆茅ヶ崎市在住☆私も小学生の時大磯の海で遊びました。

#### 【書記 小二】

お仕事を通して学年を超えての出会いが出来ることに感謝です。一年間よろしくお願い致します。☆平塚市在住☆リフレッシュは音楽や薔薇を育てることです。

#### 【書記 小二・小六】

まだ二年目の新米ですが、皆さんの力をお借りしながら役員同士も助け合い、活動していきたいと思ひます。☆平塚市在住☆趣味は歌うこと、ピアノを弾くことです。

#### 【書記 小二】

入学以来学園、S Aの皆様には大変お世話になっております。至らない点もあるかと思ひますが、お役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。☆最近、息子の送迎のついでにウォーキングを始めました。

#### 【会計 中二】

この度、会計のお仕事をさせていただく事になりました。金銭を扱うという事で気が気ではありませんが皆さんのお役にたてるように一生懸命頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。☆平塚市在住☆ペットはインコ・亀・丘ヤドカリがいます。生き物に接している時間はとても癒やされます。

#### 【会計 小六】

皆さんからお預かりする会費を管理しながら、子どもたちが楽しい学校生活を送るお手伝いができれば嬉しいです。☆鎌倉市在住☆ヨガを始めたたいです。

## STEPHEN'S NEWS

### 【表彰】＊2016年度表彰

〈実用数学技能検定合格者〉

8級 小2 T・R

〈日本漢字能力検定合格者〉

準2級 中3 K・M

5級 小2 T・R

6級 小4 K・S

〈ステパノカップ MVP表彰者〉

サッカー部 中3 T・M

バスケットボール部 中3 T・F

陸上競技部 中2 H・Y

中3 T・H T・M

### 【離着任者の紹介】

小澤和子先生、馬越優先生が退職され、佐藤優先生が英語科教諭として、また澤邊嵩介先生が小学校教諭として着任されました。そして、山口小百合先生が美術・図工科非常勤講師として、また原優花先生が養護教諭として着任されました。

### 編集後記

岩崎山にも春がやってきました。(に)

代表者 学園長 小川 正夫

発行者 ステパノ学園小学校・中学校

ステパノだより編集委員会

〒二五〇〇三 神奈川県中郡大磯町大磯八六八

TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>  
二〇一七年四月十七日(月)発行 第209号